



ROTARIANS  
UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン  
奉仕に結束  
平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員81名 出席66名 出席率82.09% 前回出席率92.54% 修正出席73名 確定出席率95.52%

ゲストスピーチ

時 局 講 演

衆議院議員・宏地会事務総長 加藤 紘 一 氏



大変ご無沙汰いたしております。過去3年間、防衛庁長官をしたり、自民党の政調会長代理をしたりで大変忙しく、帰る機会も少なく、お詫びする気持で一杯です。

今度私は派閥の事務総長として90人の衆参国會議員

がスムーズに次の選挙に当選できるように、又、一人でも多くできないか、とか人の面倒を見る仕事で、だんだん大人の世界に入ってきた感じです。又、党の方の仕事は簡単に言いますと、手を抜こうと思っていますが、農業関係の仕事は最近ごたごたいたしております、どうしても手が抜けなくて、日米の農産物の話とか、それに関する日米間の仕事だけは従来通りしなければならぬと思っています。

昨年私達は、なんとかして宮沢さんを総理大臣にしたいと思って、段取りだけは非常に旨くいきまして、我々の思った通り最後の中曽根総理に白紙一任全員することに決定し、安竹連合が崩れ、あとはおみくじを待つのみでしたが、最後のおみくじが悪く、世の中なかなか旨くゆかないものだと思います。なぜおみくじになったかと申しますと、単的に云いますと田中、竹下グループが過去10数年政権をとっていないことではないか。人数が多いということも重要なファクターでしょう。長年政権をとっていないところに渡した方が政権と、党内が安定するだろう。宏地会の場合には、中曽根さんの前が鈴木、大平の政権でしたので、ごたごたするののかとの判断が

あったのでしょうか。それから中曽根さんがカムバックの夢を持っているのではないか、二年後には、事によっては竹下政権が対外関係等が旨くゆかなかったら再登場を考えているのではないか。「二年後に予備選挙に出る資格があるんだよネ、俺はネ」と最近云っているそうです。皆心の中で疑念を持っている時に、そのような話が伝わると、「うむ、やっぱりか」となる。そうすると渡辺美智雄と中曽根さんの関係がどうなるか、これから半年、一年が皆んなの関心事になるでしょう。我々はこれから宮沢さん政権をもう一回作ろうと思って勝負をしてゆきたいと思います。よく宮沢さんはもう無理なのではないか、今度が最後のチャンスだったんであきらめて別の体制を考えるべきではないか等と云われておりますが、世の中、政局は一寸先が闇でございます。福田さんが田中角栄さんに負けたとき彼の年令は67才です。今、宮沢喜一68才です。福田さんは当時54才で、子分も多いし、金もあるし、エネルギーな田中角栄さんに負けた訳ですから、これで政権は遠のいたと思ったのです。そして二年後、田中さんの金脈退陣によって三木政権が出来た時、もうこれで終りだと云われた時、二年後71才で福田内閣が誕生しました。大平さんがその後逝くなって、そして誰を後継者にするかというときに三角大福中の内に中だけがまだなっていないのです。当然中曽根さんとなった訳ですが、しかし世論はそうでなく、結局鈴木善幸さんという予想外の人がなった。そして中曽根さんは行政管理庁庁官という当時、閑職に追いやられて、これで中曽根政権は無理だと云われました。二年後中曽根政権が出来て、予想も出来なか

庄内空港の建設を推進しましょう

った5年も続いた訳であります。だから、ある程度今の竹下派とか宮沢派、中曽根派、安倍派だとかこれぐらいの80~90人前後の勢力があり当人が一生懸命頑張っていれば、いろんな可能性があるのだと思います。したがって我々はもう一度宮沢さんに勝負をさせて見たい。そんな気持ちで一年、二年頑張ってゆきたいと考えています。宮沢さん自身も68才にして初めて挫折を味わった訳ですから悔やしいということで、このままでは墓場にもゆけないという顔で今、必死にやっているし、一番のびのびとして明るく割り切って頑張っているのです、これから一年一年、お手伝いをしていきたいと思っています。

竹下政権はどの程度続くのかねと聞かれますが、これは皆目見当が付きません。ただ、今度のアメリカ訪問でどういう成果が収められるかではありますが、農産物にしても公共事業にしても、そこそこのあまり大きなテーマにはならないようにしながら帰ってこれるだろうと思っています。しかし、マスメディアと政権の関係が重要ですので、総理大臣がある程度のメリハリを付けて、いろんな事をお話をし、ドラマを作っていくか、新聞記者の方が書くことがないとイライラして、書かないと仕事にならないものですから、上の方から文句を云われる訳です。書くことがない、話すことが言語明瞭意味不明となると、段々フラストが溜まっていく、そうすると4~5月後が竹下政権の一つの山場になってくるのではないかと。選挙が来年の衆参同一選挙になるのではないかと。そこに向けて税制改正でどのような山場をつくれるかで政権に大きく影響してくるでしょう。

税制改正はどうなるのかですが、これはかならずやると。これまでの経験で非課税品目を少なくし、薄く簡単にするだろうと思います。前回の税制改正で大きな反発が出たのは、税金は払う、しかし商売の中身はのぞくな。ということだったので。しかし、そうは云うものの一般の企業だって経理内容を見られる時代になっているのだから、時代に即応しなければならぬのではないかと。その部分を含めてどの程度説得できるのかがポイントになってくるだろうと思います。

さて、円が今日128円のように。一時120円を切りそうになりました。この間から180円を切ったら日本経済がだめになる、150円切ったら、130円を切ったらだめになると云われながら日本経済は発展しています。どうして燈が消えたようになってい

るはずのものが、そうでないのかですが、考えて見ますと日本の年間の動きはGNPですが350兆の見通しです。外国に輸出している額はどのくらいかと云いますと2,500億米ドルから、3,000億米ドルくらいと思います。日本円にすると30兆円です。10%を切っている訳です。輸出依存度10%です。ところがドイツですと20数%、ヨーロッパのEC諸国ですと40数%です。以外に日本は輸出額は多くないと云えます。

実は5~6年前、日本の国内の残りの300兆前後の国内経済の活気がなくなり、なかなか良い方法がなかったの、輸出ドライブがかかった訳です。外に物を売ることによって5~6年過ぎてきたのですが、予想通り他の国からは迷惑がられたのです。俺の国に物を売るとより自分の国内の経済を刺激することを考えるべきと云われ、ジャパン・バッシングされていることではないかと思えます。それでは国内の景気を良くするには何か考えなければならぬのではないかと。輸出依存だけではいなくなってきていることが、今の日本経済が置かれている状況ではないかと思えます。

5~6年前選挙区に帰り、仮に25万~30万の大型所得減税でポケットに余分な金が入ったら何を買いますかと聞きました。鶴岡、朝日で国会報告会でのことです。すると全員答えがないのです。30万円を物を買って下さい、商店が潤います、商店が仕入れます、メーカーが設備投資します、新日鉄の鉄材が売れます、ガラス屋が忙しくなります。したがって日本経済が繁栄する訳ですから、何か30万円を物を買ってくれと云いますと会場がシーンとなります。もう一回聞くと渋々貯金すると云います。貯金では景気刺激にならない、物を買ってくれと云いますと山陰地方か九州に旅行すると云います。少しは景気刺激になるでしょうが、何か物はないですかと聞くと、これも渋々してから「先生、そう云ったって一応物はそろったものネ」と答えるのです。実は日本経済がかかえた問題は、物はそろったという感覚であるのではないかと。おそらく20年前、30万で物を買ってくれと云われたら、一挙に単純に手が上りカラーテレビ、電気洗濯機で自動したのを買いたいとすぐ答えが出たと思えます。我々の社会では一応ある夢を持ってアメリカ人並の消費生活をしたいと思っていたので、大体そこまで到達した飽和感が5~6年前から出たのではないかと思われ。その飽和感が現在も続いています。そして同時に不安感と

かイライラ感がたまっています。

今度GNPが円とドルのチェンジレートでおそらく日本は全世界の中で個人当りのGNP価値は世界最高の国になっているはずで、それでは年間世界一の稼ぎになったのですから金持ちになったんですよ。それで物も飽和感あるくらいある訳ですから「世界一豊かですよネ」と云いますと、皆んな「えっ」と云うような顔になるのです。「いやそうも思えないな」と。で、私が壇上で長々話をすると、加藤紘一も昔は若手代議士で地元や我々の気持ちが解るいい代議士だったけれども、代議士15年もなって大臣も1〜2回やって、東京の赤坂なんかの料亭で飯ばかり喰ってるもんだから、やっぱり我々とかけ離れてこんな事を云う人間になったのだ。本当に豊かになったと思えないのに、あの態度は……。そんな雰囲気は漂う訳であります。それじゃコミュニケーション・ギャップが出来選挙のために良くありませんから、私は皆さんそうは云っても本当に豊かになったと思えないんですね。と云うと、そうそうそのへん解ってればいいんだけどさ。で、同志愛が芽ばえる訳です。そこで、「なぜあなた達本当に豊かになった気分になれないのですか。それ云ってみて下さい。GNP一人当りの統計でかならず一位になっているのです。カラーテレビだってあるでしょう、あなたの持っているカラーテレビはアメリカの金持ちの使っているものより良いものを見ているですよ。アメリカの主婦は全自動渦巻式電気洗濯機など決して使っていない。あなたの奥様の方がいい洗濯機を使っているのですよ。なのに金持になった本当の豊かさでないと思うのは、なぜなんです。」と云っても「そのへんは解らないけど、金持ちではない」実は、この分析を私はこの1年、2年、日本経済の舵取りをしなければならぬ我々は、問い続けられる年になるのではないかと思います。そして私は、これに対する答えは、ある意味では簡単で、我々にはインカムはあるけれどもウエルスがない。所得はあるけれど資産がない。日銭はかなり入ってその日暮しは贅沢だが、財産がない。こう云う言葉になるのではないかと思います。

5〜6年前私はイギリスに行きましたら、あの国はものすごく貧乏でした。今でも毎日の生活は質素なものです、週末になりますと彼等は田舎の別荘地に行ったりするし、中産階級でもそんな別荘地を持っている。ロンドンから持っていったパンとワインで、別荘地のそばを流れる小川から採った魚を焼

いて食べて、いい週末だと云って帰ってくる。それでは、そんないい別荘地を持っているなら、それを切り売りでもして、日々もう少しいい食生活ができるよう考えないかと云ったら、イギリス人は、こいつは馬鹿ではないかと思って顔を見る、彼等屈があるんですね。日々の生活は日々の生活ではありませんか。戦争の時はもっと悪い生活でした。もっと悪いものを食べました。イギリス経済が良くなれば良い生活になるんでしょう。なのに親代々の財産を売り喰いしたら、あとに何も残らない。その場限りでそんな事が出来ますか。そんな質問なぜあなたはするのですか。そこで我々は気がついたのですが、戦後豊かさを求めてきたのは、実はアメリカ型の消費の豊かさの社会なのであって、インカム所得が豊かであることを狙ってきたんであって、財産ウェルズアセットというもので、溜りというものについてあまり気を配らない社会だったのではないかと。だから東京の人々の生活は、これを単的に表しています。グルメ時代等と云われていますが、高級なレストランで食事をし、いいワインを飲んで、派手なネクタイでいい生活をしているけれども、家に帰るとその住宅はウサギ小屋なのです。したがって贅沢はしているけれども、豊かになったように思えない。そういう感覚に今、なっているのではないかと思います。我々の目標としているのは、そこのメリハリをどこに豊かさが無い根源があるのかをもう一回分析をしてみるのではないかと思います。水に例えますと、農業用水の水路がありますが、特に47号線の余目新田のあたりですが、田植時期になりますと堂々と水が流れてるのを見ると豊かになった感じがするのですが、あれがGNP所得の世界なのです。又、大きな池に満々と水が溜まっていて、ダムが満水の状況もこれ又豊かに見えるものですが、あれは溜りの世界、財産の世界、いわゆる資産の世界だと思います。我々は溜りというものを重要視する社会にならなければならないのではないかと。

夏になりますと花笠音頭があります。その時期に合せて鶴岡中学とか、南高校とか、工業とかの同級会が開かれます。すると東京から、いい大学に入って、出世したような人が帰ってくる訳です。地元で親の代から仕事の関係で引継ぐ地元残留組が、同級会の段取りをしておく訳です。市内の料亭かどこかの会場で、今回の会費はいくらかと聞きます、5,000円か6,000円で座敷で二の膳付。東京から来た者は、6,000円でいいのか、ふるさとは安いね。

なんて云うものだから、この野郎エラシグネ事云う  
なと始まり、いやな雰囲気か漂う訳であります。す  
ると彼は慶応卒だとか明治卒とか、同期の中で一番  
最初に課長になったとか、標準語でハイカラに云う。  
妻一人？ あたり前の事ですが、子供二人、そして  
杉並あたりに一応マンションを買ってね。マンショ  
ンの広さはと聞いたら75㎡位だ、ちょっと小さいな  
と思ったが、マンションと聞いてうらやましいと思  
ったのですが。まあ大体、東京出世組が出来た顔を  
している時期です。二次会でも、私も久し振りに来  
たので二次会の金は自分が払うなんてキザな事を東  
京の連中は云う。いやな感じが漂う訳ですが、その  
へんまでは東京組が勝ち、それから三次会になって  
昔のように俺の家に飲みこいと云われ、酔払いな  
がらその家に行くと、アッと思うのです、東京出世  
組は。良く見ると玄関と門の間に若干なりとも距離  
がある訳です。門と玄関とは別だとの概念は東京に  
はないのです。アレ！と思うのです。鶴岡旧市内で  
すところいう事はないのですが、特にちょっと離れた  
大山だとか、櫛引あたりの同級生の家では壺があ  
ったりする。玄関を開けると、柱の太さが違う。東  
京のマンションですと三寸角位。こちらでは五寸角  
位の柱がある。そこで地酒か一升ビンでくる。ガイ  
呑みを見ると年代ものの九谷焼がでてくる。テー  
ブルは、自分のところは化学製品の使ったものでは  
すが、こちらはがっちりした杉材で、持つものならギ  
ックリ腰になるような立派なもので。泊ってゆけと云  
われ又びっくり。民宿でもできる広さです。お前の家  
何坪あるのだと聞かれ75坪、俺の家はマンション75  
㎡だ。単位が違うことに気付く訳です。そして次の  
日、酔眼もろうろとして鶴岡駅から電車で帰る訳  
ですが、どっちが豊かな生活をしているのか訳が解  
らなくなって東京へ帰ってゆくのが、毎年夏鶴岡駅  
で起っていることではないかと思ひます。

我々の戦後の生活は、東京サラリーマン組の豊か  
さの生活であって、落ちついた財産をどうやって作  
るかがこれからの話です。落ちついた財産とは、個  
人で言えば住宅であり、宅地であり、家の中では絵  
画があったり、タンスもベニヤ張りではなく、どっ  
しりしたタンスであったり、着物は化せんではなく  
絹の和装であり、そういうところに層の厚い溜りの  
豊かさが表現されていると思ひます。

一方、社会について見れば、新幹線を作れとか、  
高速道路を作ってくれとかの陳情がある段階では社  
会の富がない。まだないから作ってくれとの陳情が

あるのだと思ひます。アメリカとかドイツは、アウ  
トバンにしても、ハイウェイにしても、もうすでに  
出来上っている訳で、社会の財産は完了している訳  
です。イギリスは港は完全に出来上っていますが、  
我々は酒田北港を直せとか、鼠ヶ関の港の改修とい  
う陳情を受ける。だから社会の財産がない。酒田横  
断道もしかり。その中で財産が一番諸外国と差があ  
るのが下水道です。日本には下水がない。鶴岡市も  
今、一生懸命作っていて、鶴岡市の旧市内の普及率  
は30%台と思ひますが、イギリス、フランスでは100  
%に近いのです。なぜ日本では下水道が発達しな  
かったのか…それは山が険しいからです。雨が降ると  
一挙に水を流し、小川、小堰から流れ、汚れものを  
運び赤川、最上川により日本海に流す。自然の下水  
道機能が日本の地理の中にあっただと思ひます。  
一方、ヨーロッパ…フランス、ドイツは昔から平ら  
で、ライン川、セヌ、ドナウ川、ゆったりゆっ  
たり流れている訳ですから、「セヌ川 集めて早し  
セヌ川」なんてない訳ですから。平地ですから水  
が流れない、水が留る、そこでペストだとかコレラ  
とか流感すると一挙に病原菌が繁殖し、中世のヨー  
ロッパでは人口の5分の1が死んだことが何度もあ  
ったと高校の歴史の教科書にあっただと思ひます。だ  
から彼等は生きるために必死になって下水道を作ら  
なければならなかったのです。昨年あたり東京で人  
気があったピクトルユーゴの「ああ無情」レ・ミゼ  
ラブルがありました、あの中での登場人物で、ジャ  
ン・バルジャンという6尺豊かな男が刑事から追  
いかけられて、パリの地下道で6尺余りの男が走  
って逃げる。それは下水道です。1880年代の話です。  
その時すでにできている訳です。したがって日本も  
下水道を一生懸命作っていかねばならないので  
す。下水道も不備ですし、公園も出来てないし、こ  
れらがこれからの日本の仕事になるのではないかと  
思ひます。

個人では住宅を中心にした財産、社会としては下  
水道に代表される公共的な財産を作って、始めてゆ  
ったりと、休みの日に遊びにゆくと道路は混まない、  
レジャーを自然の中でゆったりと休養して、又、働  
くとすれば、日本人は本当に豊かだと気がするのだ  
と思ひます。そういう事は日本全体の流れとして。

最後に、この地域の問題はどうなるのかですが、  
農業を中心はかなり厳しい段階に入ってきています。  
私はお米の問題、昨日八郎瀉の裁判の問題でも解る  
ように、食管制度が弾力的に運用さざるを得ない社

会に入ってきて、庄内の米づくりも他の産地と競争するような商売で、経営感覚を持った売れる米づくりに徹する時代に入ってくるだろうと思います。

次に社会全体として、この地域はどうなのかです。67年までに空港を作ることが出来ます。お金の面は我々がしっかりやりますから大丈夫です。問題は企業を誘致できるかです。これまで企業誘致を考えている頭は、安い労働力が、肉体を使う労働力がこの地域にありますから、工場進出して下さい。と云うキャッチフレーズでやってきていましたが、そう云う製造業はシンガポール、台湾、韓国、中国、はたまたアメリカに行く時代になりました。それでは日本では何をやるのかですが、新製品を研究したり、企画したり、そして物を作るソフトを日本が考えて、単純に肉体労働で良いものは外国です。その時代に入っている訳です。経済のソフト化、サービス化、国際化が事実であります。肉体的な労働は比較的日本からは少なくなっていく社会になりつつあることを認識を持たなければならないと思います。そうなる一番便利なところは東京ですから、又人口が東京に集まり過ぎて、土地が一坪一億円となる訳ですが、正常な状況ではないので工業再配置で、ハイテク研究施設再配分という法律を今度通産省が予算化しますが、研究企画システムを作る高度な分野の地方分散時代になってきたと思います。

東根に富士通、カシオ等の企業がありますが、その工場長とお話をする機会がありました。それぞれ150人の大学の工学部以上の卒業者がいるとのこと。今迄考えられなかった事です。鶴岡のNECにもそのような人が50人働いているそうです。息子が東京工業大学に入学したらその家は悲劇で、一生地元鶴岡には帰ってこない、能力を発揮できる職場がない訳ですから。ところが、東根でも鶴岡でも、そういう人間が現に働いている時代になっている訳です。企業誘致する基本は、東京の大学を出て、戻ってくるいい人材があります、工専とか工業高校でハイレベルで機械いじりが好きで、物を工夫したり、機械をいじくることに熱中するタイプの子供達が沢山いるところです。安い肉体労働の時代ではなくて、

システムを考えたり、企画したり、優れた子供がいるし、又、風土です。これが企業誘致のポイントになると思います。もちろん空港も良くなければなりませんし、そういう人間が利用する訳ですから、空港の件は我々がやりますが、山形県庄内の教育水準も又、知的な超好奇心のレベルを上げる努力が必要ではないか。その意味で、最近この地域は、あんまり教育すると東京に行ってしまうと、年老いた親だけが残されるものですから、あまり教育を一生懸命やるものではない感じがあるとすれば、今後の時代の発展と逆行している流れになるのではないかな。もう一度教育について、この地域を見直していかなければならないのではないかな。又、この地域の中高校のレベルが上っていないと、東京から人間が企業進出してこない。東京の人間が地方にくる時、重役会議で何を論ずるか、そこに私が派遣された時、息子を連れてゆけるか、その息子が地元の高校に行ったらその後、東京の立派な大学に入れるか。こういう次元でものを考えている訳ですから。その意味からもこの地域の水準を頑張って上げる必要があるのではないかな。全科目上げることは無理なことですから、例えば数学とか、鶴岡は全国にもまして数学とか英語でもいいですが、何か一つの科目だけが急に高い状況を作ってみたらどうか。そうすると、かならず他の学科も頑張るものです。勉強する者が頑張ると俺はあまり頭が良くないけれど、その変りサッカーで日本一になって見せる等と意地張りが出てきて、スポーツも良くなる。鶴岡四中はスポーツも良いし学業も一番だそうです。それで、勉強も駄目な学校はスポーツも駄目なんです。やはり、どこかの一つの方で引っ張る部分を作って、そしていろんな意味で意欲を上げることが、鶴岡にとって必要ではないかと思えます。

いろいろお話をしましたが、ご静聴ありがとうございました。私も一生懸命地域のために頑張りますので、お互に豊かさを求めて協力してゆきたいものです。鶴岡ロータリークラブの発展と、皆様のご健勝をお祈りして失礼します。

ありがとうございました。

## 会長報告

吉野 勲君

1. 本日はゲストスピーカーとして、我らが代議士宏地会事務総長加藤紘一代議士をお迎えいたして居ります。公務多忙のところ、わざわざ例会に出

席頂き時局講演会をお聞きする機会を得ました。先生、本当に有難うございました。宜敷くご静聴の程をお願いいたします。

2. 先る10日、マリカ西館に於いて、ご招待を頂いた国際ソロプチミスト鶴岡認証式に参加致して参

りました。午前11時、式典が始まり、全国各地より多くの会員が集まり、厳粛なうちに認証状が三浦ガバナーより福原会長さんに手渡され、めでたく鶴岡クラブが誕生いたし、式典が終って祝宴に移り、午後3時すぎ終了いたしました。求める所は友情、偉業の達成、奉仕、誠実な職業、国土愛の誓約なようですので、吾々R.Cとも非常に共通する点が多く、今後益々のご発展を祈念いたします。

## 幹事報告

板垣広志君

○例会変更のお知らせ

酒田R.C新年会のため

日時 1月21日を1月19日(火)午後6時

場所 山王クラブ

登録料 5,000円

○東京R.Cより会報到着

○会津若松での昭和62年9月26日の年次大会記録配布

○新会員研修会(ホテル・リッチ酒田)

2月7日午後1時 会長以下4名出席

○米沢市での第253地区情報セミナーについて

日時 1月17日午前9時30分

場所 米沢女子高

登録料 5,000円

当R.Cより4名出席予定

## 委員会報告

### 親睦活動委員会

丹下誠四郎君

恒例の鰯汁例会をご案内の通り、2月2日午後6時より産業会館5階ホールで開催します。多数ご出席下さい。

## OB会員便り

## 仙台発、御無沙汰発信

NTT東北総支社経営企画部長 佐藤英明氏



鶴岡R.Cの皆様、新年明けましておめでとうございます。お元気で過ごしたのことと思います。

早いもので、鶴岡を離れてもう2年になります。

御当地出身の作家・藤沢周平氏がその著「義民が駆ける」の中で「鳥海山も月山も執拗な雲に覆われ、や

がて野と山を罩めて雪が降る。重く厚い雪の嵩と、海を越えて吹きつける季節風に堪えて、人々は春を待つのである。」と描いたように、鶴岡は今、「大地雪漫々」、時おり地吹雪が気紛れに吹き荒れているのでしょうか。それとも、仙台は近年にない暖冬ですが、鶴岡も同じように穏やかな冬の中にあるのでしょうか。

今、私は、冬の厳しさとは別の、鶴岡R.Cの皆様のお熱い御芳情に囲まれて楽しく過ごした2年間(59年2月～61年1月)を思い出しながら筆を執っております。

「一期一会」という言葉がございますが、まさに皆様御一人御一人との時を刻み、積み重ねられた交流が、私の大きな財産となっており、SAA・親睦委員会を通じての活動等様々なことが懐かしく思い出されます。まもなく鰯汁会の季節ですが、その究極の味に興奮し5杯もおかわりをしたものでした。

現在、私は、仙台市5橋にありますNTT東北総支社で、弊社の東北(6県)管内の経営企画・業務改善・広報関係の仕事をしております。忙しいふりをして立ち廻っていますが、体は相変わらず寒鰯のようなスマートな体型を維持しております。お近くにおいでの際はぜひお立寄りいただきたいと思います。

ついでに、商売気を出して宣伝させていただきますと、御存知でしょうか、今般、芭蕉紀行300年記念特別企画として、宮田雅之画伯切り絵「おくのほそ道」テレホンカードが発行されました。このシリーズの中に、かの出羽三山の三名句があります。ぜひ御買求めいただければ幸いと存じます。

鶴岡R.Cの皆様のお健勝と益々の御発展を祈念しますと共に、日頃の御無沙汰をお詫びし筆を置きます。